

食と精神の安定（仮）

大森拓哉ゼミ

21011224

瀬上賢一郎

1 目的

体の症状と性格が関係しているかどうか調べる。

2 調査方法

大学生 10 人にアンケートをとり集計。

アンケートの内容は **Big Five** とオリジナルの質問項目。

Big Five とオリジナルの質問の相関を調べる。

3 結果

情緒不安定性

睡眠を十分にとっている 0.412

野菜を毎日取っている -0.429

緊張しやすい 0.327

外交性

睡眠を十分にとっている -0.417

野菜を毎日取っている 0.401

自分に自信が無い 0.460

ストレスの発散方法がある -0.621

一人であるほうが好き -0.520

適度な運動をしている -0.562

開放性

自分に自信が無い 0.435

しょっちゅうお腹が痛くなる 0.511

一人であるほうが好き -0.639

適度な運動をしている -0.738

調和性

しょっちゅうお腹が痛くなる -0.761

適度な運動をしている 0.489

相談できる相手がいる 0.464

誠実性

緊張しやすい -0.364

他人の評価が気になる -0.384

しょっちゅうお腹が痛くなる -0.312

4 考察

性格によって体や精神に変化があることがわかったが、人数が少ないので 100 人を目安にアンケートをとる。